

## 経営健全化方針に基づく取組状況（令和5年度）

### ○法人名

（一社）宮崎県酪農公社

### ○経営健全化方針を策定した理由

・債務超過額が平成29年度末時点で189,627千円発生しているため、平成30年度に経営健全化方針を策定したものの。

### ○財政的リスクの状況

	平成29年度決算 (※1)	・・・	令和5年度決算 (※2)
債務超過額（千円）	189,627		193,879

※1：経営健全化方針の策定が必要となった決算年度の数値を記載

※2：該当する経営健全化方針の策定要件に関して、直近の決算額を記載

### ○主な取組状況

#### 【公社自らによる経営健全化のための具体的な対応】

- ・飼料や資材、燃料等といった生産原価の高止まりにより、令和5年度は35,719千円の損失を計上することとなった。
- ・主要部門である乳用牛育成預託部門は、上記のとおり厳しい酪農情勢を背景に、預託頭数の減少や期間の短縮などが起こり、令和5年度の預託牛（平均在场頭数）は613頭と前年を下回った。  
これに対し、公社は、県内酪農家へパンフレットの配布などを通じて預託事業のPRに努めたほか、預託事業を利用する農家に利用拡大を呼びかけるなど、入牧頭数の増加に取り組むとともに、預託料の値上げによる経営の健全化に取り組んだ。
- ・乳用牛部門では、平均搾乳頭数及び平均出荷日量が前年よりも減少したものの、飼養管理の徹底に取り組んだことで、令和5年度の1頭あたり乳量は8,735kgと前年を上回り、自家産更新に取り組んだことで乳質の改善にも貢献できた。

#### 【地方公共団体による財政的リスクへの対応のための対応】

- ・令和4年3月に公社と県・都城市を含む関係機関を構成員とした「宮崎県酪農公社運営改善チーム」が策定した「第四次経営改善計画」の確実な実行に向け、公社全職員と県・都城市を含む関係機関が参加する経営実績検討会（毎月）や、公社と関係機関を参集した経営改善チーム会議（四半期毎）を開催し、公社の経営状況や部門毎の業務の状況をフォローするとともに、計画の進捗状況や財務状況の確認を行い、経営改善を図った。

○宮崎県酪農公社の財務状況  
(貸借対照表から)

千円

	平成29年度決算 (※3)	・・・	令和5年度決算 (※4)
資産総額	285,717	・・・	291,009
流動資産	125,892	・・・	142,888
(うち棚卸資産)	66,529	・・・	68,068
固定資産	159,825	・・・	148,121
負債総額	475,344	・・・	484,888
(うち当該地方公共団体からの借入金)	0	・・・	0
宮崎県	0	・・・	0
都城市	0	・・・	0
総資産額	-189,627	・・・	-193,879
出資金	160,580	・・・	160,580
繰越利益剰余金	-350,207	・・・	-354,459

(損益計算書から)

千円

	平成29年度決算 (※3)	・・・	令和5年度決算 (※4)
事業収益	397,510	・・・	407,841
事業原価	309,364	・・・	355,634
販売費及び一般管理費	78,051	・・・	83,295
事業利益	10,095	・・・	-31,088
事業外損益	-5,146	・・・	-4,560
経常利益	4,949	・・・	-35,648
特別損益	890	・・・	0
当期純損益(税引前)	5,839	・・・	-35,648
法人税等	71	・・・	71
当期純損益	5,768	・・・	-35,719

※3：経営健全化方針の策定が必要となった決算年度の数値を記載

※4：直近の決算額を、順次記載